

検定名	合格級	名前	学校	学年
第142回 日本語ワープロ	1級	原田拓澄	中部小	6年生
	2級	松井千紗	南部中	一年生
		黒瀬実花子	牛久保小	5年生
	3級	野崎詩	牛久保小	4年生
	4級	中末結花	牛久保小	4年生
第140回 情報処理表計算	1級	伊東大輝	南部中	二年生
	2級	太田侑苺	牛久保小	6年生
第70回 プレゼンテーション	2級	梅原みどり	一般	

\*少し前にもご紹介しましたが、今回プレゼン2級に合格した梅原さんはもう15年以上も教室に通ってパソコンレッスンに励んでいる60代の女性。とてもエネルギッシュな方で毎日、早朝からPCと向き合いながら練習に励んでおり、確実にスキルがアップしています。次は文書デザインの1級に挑戦したいとのこと。4年前にも受験してあと一歩で不合格となったので再チャレンジしてみたいと、とても意欲的。梅原さんのネバーギブアップの不屈の精神は見習いたいものです。

\*パソコン検定は年4回(7月・10月・12月・2月)、次回は7月に実施予定。

\*今回の検定で残念ながら不合格だった人は再チャレンジを目指して練習を重ねていこう!

なぜ1時間は60分か(中日新聞より一部参照)

時間の単位を改めて考えてみると不思議。どうして1時間が60分、1分が60秒なのだろうか?

わたしたちが日常で使っているのは10進法(9まで数えると次の位へ移るシステム)だが、これは両手の指が10本だからである。コンピュータの世界では2進法で、例えば電球が光っていればオンで1、消えていればオフで2というイメージ。こうして考えると時間は60進法に基づいていることが分かる。60という数字は多くの数字で割り切れることが大きな利点となっており、1から6までの全てと10、12、15、20、30、そして60で割り切れる。1時間は30分が二つ、20分が三つ、10分が六つというようにきれいに分割できるが、仮に1時間が10分だったら1時間の3分の1は割り切れなくなる。

60よりも小さい数で同じように多くの数で割り切れるのが12。1ダースという単位は12であり、時計の針も1から12まで、1年も1月から12月まで、そして干支も「十二支」。英語でも11はeleven、12のことはtwelveというが、13以上になるとthirteenというように「~teen」となり、10ではなく12を区切りにしている。

身の回りの数字をじっくり眺めてみると、なんだか面白い発見につながりそうですね。

アバカス・サーキット第311戦(2月大会)成績

F1



F2

F1 自己記録更新者(全参加者4790名)

氏名	得点	UP点	学年	学年別	
				順位(上位%)	学年人数
平手九	158	+8	小6	389(48%)	810
島慶多	138	+2	小6	498(61%)	810
影山琴	136	+2	小5	540(54%)	1006
陶山結瞳	126	+6	中1	398(84%)	473
岡田詩真	102	+3	小5	741(74%)	1006

F2\_150点達成者(参加者1431名)

順位	氏名	学年	得点
53	東地いろ葉	小4	154

\*アバカスサーキットに限りませんが、そろばん・あんざんともにみとり算(足し算・引き算)が正しく、そして早く出来ることが最重要。特にそろばんの場合は、一定のリズムで流れるように指先が珠を弾くレベルになることは必須。

\*みとり算のレベルがアップすれば、必ずそろばん・暗算ともに「かけわり」は伸びていきますよ。

春休み

3月27日(木) ~ 3月31日(月)

上記の期間は「春休み」となります。 休み明けの最初の授業は

◆塔ノ木教室・・・4月1日(火) ◆高見教室・・・4月2日(水)

となります。宜しくお願いします。